

平成15年3月期 第1四半期業績概況

平成14年7月23日

上場会社名 **小松ウール工業株式会社** (コード番号: 7949 東証・大証第一部)
(URL <http://www.komatsuwall.co.jp/>)

問合せ先 責任者役職 取締役経理部長
氏名 鈴木裕文 (TEL:(0761)21-3131)

1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

- 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : (中間連結財務諸表規則)
- ・ 会計処理方法の変更の有無 : 無
 - ・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無
 - 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無
 - 公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 無

2. 平成15年3月期第1四半期の業績概況 (平成14年4月1日 ~ 平成14年6月30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年3月期第1四半期	5,062	(-)	419	(-)	436	(-)	241	(-)
14年3月期第1四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)14年3月期	22,960	(4.6)	2,302	(6.7)	2,385	(4.1)	1,297	(20.3)

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
15年3月期第1四半期	22	11	-	-
14年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)14年3月期	118	98	-	-

(注)四半期決算の開示は、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

[経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の国内経済は、3月の「一部に下げ止まりの兆しが見られる」から、5月には輸出の好転で「依然厳しい状況にあるが、底入れしている」と底入れ宣言がありましたが、雇用環境、個人消費等改善が見られず、本格的な景気回復には程遠い状況であると考えられます。

間仕切業界におきまして、上場ゼネコンの破綻と過剰債務問題、販売価格競争の激化に加え、春先のオフィス需要も振わず、厳しい経営環境が続きました。

このような情勢のなかで、当社グループは積極的なコスト削減と、設計指定活動による受注活動に取り組んでまいりました結果、当第1四半期はほぼ予定どおりの業績となりました。

品目別では、オフィス需要の低迷により、可動間仕切、ロー間仕切は前年同期比では減少しておりますが、計画比ではほぼ予定どおりとなりました。近年伸長の著しい固定間仕切は、病院、老人介護施設等の福祉・厚生施設向けを中心に前年同期比増加しており、移動間仕切、トイレブースについては計画どおり推移しております。また、その他の製品では首都圏におけるオフィスビル新築のビッグプロジェクトを中心に納入されている壁面化粧パネルは、前年同期比、計画比ともに増加となりました。

利益面につきましては、全社一丸となったコスト削減と大幅に生産ラインの合理化を実施した固定間仕切の増産効果等から売上総利益率は計画比0.6%改善されました。販売費及び一般管理費についても経費削減により、予算を若干下回って推移しております。

これらの結果、当第1四半期は売上高50億62百万円、営業利益4億19百万円、経常利益4億36百万円、当期純利益2億41百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
15年3月期第1四半期	23,744	20,281	85.4	1,860
14年3月期第1四半期	-	-	-	11
(参考)14年3月期	24,055	20,256	84.2	1,857

(注) 四半期決算の開示は、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
15年3月期第1四半期	431	768	147	6,155
14年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)14年3月期	2,549	320	288	5,103

(注) 四半期決算の開示は、当第1四半期より実施しておりますので、前年同四半期の実績は記載しておりません。また、前年同四半期との比較についても行っておりません。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は3億11百万円減少、株主資本は25百万円増加し、株主資本比率は1.2%増加しました。

総資産の減少の主なものは、現金及び預金の増加2億22百万円、受取手形及び売掛金の減少4億38百万円等による流動資産の減少3億56百万円であります。負債の部では買掛金の減少2億50百万円、未払金の増加5億3百万円、未払法人税等の減少4億41百万円、賞与引当金の減少2億52百万円等の流動負債の減少3億58百万円が主なものであります。

キャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、4億31百万円増加しました。これは税金等調整前当期純利益4億38百万円、売上債権の減少額3億95百万円、未払金の増加額4億91百万円等による増加と仕入債務の減少額2億49百万円、法人税等の支払額5億43百万円等の減少によるものであります。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入8億40百万円、有形固定資産の取得による支出49百万円等で7億68百万円増加しました。財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払により1億47百万円減少しました。これらにより現金及び現金同等物は10億52百万円増加し、当四半期末残高は61億55百万円となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況（平成14年4月1日～平成14年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
15年3月期第1四半期	4,829	378	460	279

	総資産	株主資本
15年3月期第1四半期	22,233	19,138

3. 平成15年3月期の連結業績予想（平成14年4月1日～平成15年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益
中間期	10,000	760	430	394
通期	23,540	2,400	1,340	122

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

[業績予想に関する定性的情報等]

今後の国内経済は、外需をけん引役に循環的な回復局面を迎えることが考えられますが、景気の底入れ後も内需の低迷から、年度前半は回復感の乏しい状況が続くと考えられます。間仕切業界におきましては、首都圏の再開発物件や少子化・高齢化社会を背景とした、文教市場・福祉市場は引続き堅調に推移するものの、厳しい状況が続くと考えられます。

このような状況下において中間期の予想は、売上高については第1四半期がほぼ計画どおりに推移したことから期初予想どおりとし、利益につきましては、第1四半期に続き売上総利益率の改善等を見込みました。これらから中間期の業績予想としては、売上高100億円、経常利益7億60百万円、当期純利益4億30百万円を予想しております。

通期の業績予想につきましては、期初予想は変更せず、売上高235億40百万円、経常利益24億円、当期純利益13億40百万円を予想しております。

(参考2) 平成15年3月期の個別業績予想(平成14年4月1日 ~ 平成15年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭	円 銭
中間期	9,650	750	420	14 00	-	-
通期	22,500	2,150	1,200	-	14 00	28 00

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

科 目	当 第 1 四 半 期 〔自平成14年4月 1日 至平成14年6月30日〕		前 連 結 会 計 年 度 〔自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
	百万円	%	百万円	%
売 上 高	5,062	100.0	22,960	100.0
売 上 原 価	3,360	66.4	15,398	67.1
販売費及び一般管理費	1,282	25.3	5,259	22.9
営業利益	419	8.3	2,302	10.0
営業外収益	18	0.4	89	0.4
1. 受取利息	2		6	
2. 受取配当金	2		5	
3. 受取保険金	0		4	
4. 連結調整勘定償却額	-		25	
5. その他	12		46	
営業外費用	1	0.0	6	0.0
1. 売上割引	1		6	
2. その他	0		-	
経常利益	436	8.7	2,385	10.4
特別利益	2	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	80	0.4
1. 固定資産除却損	0		11	
2. 投資有価証券売却損	-		1	
3. 投資有価証券評価損	-		45	
4. ゴルフ会員権評価損	-		21	
5. その他	-		0	
税金等調整前当期純利益	438	8.7	2,304	10.0
法人税、住民税及び事業税	101	2.0	1,074	4.7
法人税等調整額	95	1.9	66	0.3
当期純利益	241	4.8	1,297	5.6

四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	当 第 1 四 半 期 (平成14年6月30日現在)		前 連 結 会 計 年 度 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資 産 の 部)	百万円	%	百万円	%
流 動 資 産				
1. 現金及び預金	6,155		5,933	
2. 受取手形及び売掛金	6,747		7,185	
3. 棚卸資産	2,445		2,519	
4. その他	196		266	
貸倒引当金	65		70	
流 動 資 産 合 計	15,479	65.2	15,835	65.8
固 定 資 産				
1. 有形固定資産				
(1)建物及び構築物	3,817		3,811	
(2)機械装置及び運搬具	1,998		1,964	
(3)土地	2,430		2,430	
(4)その他	724		714	
減価償却累計額	4,421		4,373	
有形固定資産合計	4,549	19.2	4,548	18.9
2. 無形固定資産	260	1.1	254	1.1
3. 投資その他の資産				
(1)投資有価証券	556		558	
(2)保険積立金	2,366		2,318	
(3)その他	888		861	
貸倒引当金	357		319	
投資その他の資産合計	3,453	14.5	3,418	14.2
固 定 資 産 合 計	8,264	34.8	8,220	34.2
資 産 合 計	23,744	100.0	24,055	100.0

科目	期 別		当 第 1 四 半 期 (平成14年6月30日現在)		前 連 結 会 計 年 度 (平成14年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(負 債 の 部)	百万円	%	百万円	%		
流 動 負 債						
1. 買 掛 金	994		1,244			
2. 未 払 金	989		486			
3. 未 払 法 人 税 等	87		528			
4. 前 受 金	844		779			
5. 賞 与 引 当 金	106		358			
6. そ の 他	192		174			
流 動 負 債 合 計	3,213	13.5	3,571	14.9		
固 定 負 債						
1. 退 職 給 付 引 当 金	243		220			
2. そ の 他	5		7			
固 定 負 債 合 計	249	1.1	227	0.9		
負 債 合 計	3,463	14.6	3,799	15.8		
(資 本 の 部)						
資 本 金	3,099	13.1	3,099	12.9		
資 本 準 備 金	-	-	3,031	12.6		
資 本 剰 余 金	3,031	12.8	-	-		
連 結 剰 余 金	-	-	14,110	58.6		
利 益 剰 余 金	14,138	59.5	-	-		
その他有価証券評価差額金	10	0.0	14	0.1		
自 己 株 式	0	0.0	0	0.0		
資 本 合 計	20,281	85.4	20,256	84.2		
負 債 及 び 資 本 合 計	23,744	100.0	24,055	100.0		

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

期 別	当 第 1 四 半 期 〔自平成14年4月 1日 至平成14年6月30日〕	前 連 結 会 計 年 度 〔自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日〕
項 目		
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	438	2,304
減価償却費	71	293
連結調整勘定償却額	-	25
貸倒引当金の増減額(:減少)	33	198
受取利息及び配当金	5	12
投資有価証券評価損	-	45
ゴルフ会員権評価損	-	21
売上債権の増減額(:増加)	395	1,190
棚卸資産の増減額(:増加)	74	515
仕入債務の増減額(:減少)	249	346
未払金の増減額(:減少)	491	42
前受金の増減額(:減少)	65	69
退職給付引当金の増減額(:減少)	23	27
役員賞与の支払額	65	60
その他(純額)	304	361
小 計	967	3,677
利息及び配当金の受取額	7	13
法人税等の支払額	543	1,141
営業活動によるキャッシュ・フロー	431	2,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	1,876
定期預金の払戻による収入	840	2,570
有形固定資産の取得による支出	49	254
無形固定資産の取得による支出	19	111
投資有価証券の取得による支出	4	23
投資有価証券の売却による収入	-	16
その他(純額)	0	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	768	320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得又は売却(純額)	-	0
配当金の支払額	147	288
財務活動によるキャッシュ・フロー	147	288
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額	1,052	2,581
現金及び現金同等物の期首残高	5,103	2,521
現金及び現金同等物の期末残高	6,155	5,103

品目別売上高明細書

(百万円未満切捨)

期別 品目	当第1四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%
可動間仕切	1,894	37.4	8,157	35.5
固定間仕切	847	16.7	4,203	18.3
トイレブース	676	13.4	3,678	16.0
移動間仕切	712	14.1	3,516	15.3
ロー間仕切	329	6.5	1,329	5.8
その他	602	11.9	2,076	9.1
合計	5,062	100.0	22,960	100.0

品目別受注高および受注残高

(百万円未満切捨)

項目		当第1四半期 〔自平成14年4月1日 至平成14年6月30日〕		前連結会計年度 〔自平成13年4月1日 至平成14年3月31日〕	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
受注高	可動間仕切	2,044	34.5	7,721	32.9
	固定間仕切	1,350	22.8	4,767	20.3
	トイレブース	791	13.4	3,668	15.6
	移動間仕切	1,090	18.4	3,751	16.0
	ロー間仕切	302	5.1	1,317	5.6
	その他	346	5.8	2,237	9.6
合計		5,926	100.0	23,464	100.0
受注残高	可動間仕切	2,230	22.5	2,081	23.0
	固定間仕切	2,988	30.1	2,485	27.5
	トイレブース	1,196	12.1	1,081	12.0
	移動間仕切	2,590	26.1	2,211	24.4
	ロー間仕切	94	1.0	121	1.3
	その他	814	8.2	1,069	11.8
合計		9,915	100.0	9,051	100.0